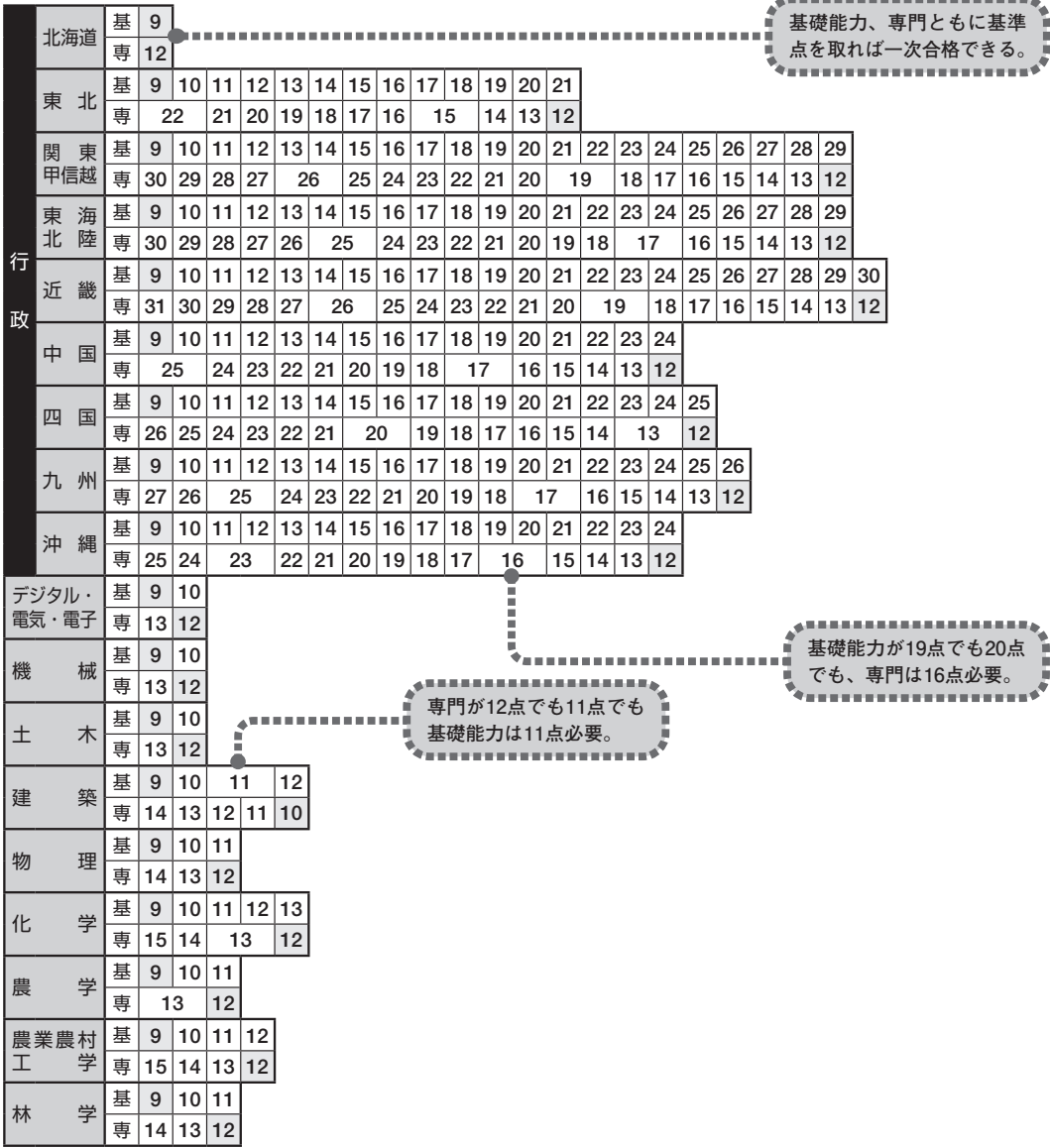


令和6(2024)年度 国家一般職（大卒程度試験） 合格点および平均点等

試験種目 区分		基礎能力試験				専門試験(多肢選択式)				一次試験 合格点 (標準点)	最 終 合格点 (標準点)
		満点	平均点	標準偏差	基準点	満点	平均点	標準偏差	基準点		
行政	北海道	30	18.113	3.788	9	40	20.576	6.776	12	163	407
	東 北		18.424	3.723						262	436
	関東甲信越		19.043	3.904						336	503
	東海北陸		19.491	3.531						334	522
	近 畿		19.041	3.913						344	532
	中 国		19.077	3.704						291	481
	四 国		18.353	3.744						294	497
	九 州		18.365	3.748						308	503
	沖 縄		16.703	3.523						289	463
	デジタル・電気・電子		18.868	4.464						40	20.283
機 械	17.652	4.165	40	19.705	6.248	12	175	249			
土 木	17.560	3.895	40	18.761	5.944	12	181	316			
建 築	18.720	3.883	33	18.415	6.211	10	132	340			
物 理	20.832	3.912	40	21.747	6.033	12	157	266			
化 学	19.426	3.881	40	17.633	5.523	12	209	316			
農 学	18.680	3.730	40	19.446	6.055	12	177	318			
農業農村工学	18.009	3.706	40	18.892	5.603	12	192	371			
林 学	18.235	4.066	40	23.575	6.875	12	152	297			
全 体			18.794	3.866							

※基礎能力試験の標準点は、全受験者の平均点・標準偏差を用いて計算される。

令和6(2024)年度 国家一般職（大卒程度試験） 一次合格ライン推計



●[一次合格ライン推計]表の見方●

各試験区分の上段が基礎能力試験（「基」）、下段が専門試験（多肢選択式、「専」）の素点（正解数）を示しており、上下段で1つの組合せとなる。

国家一般職大卒程度試験の行政・近畿を例にとると、一番左の列の「基礎能力：9、専門：31」は、「基礎能力で9点かつ専門で31点以上取れば一次合格できた」ということを示しており、一番右の列の「基礎能力：30、専門：12」は、「基礎能力で30点かつ専門で12点以上取れば一次合格できた」ということを示している。なお、欄がグレーに塗られている素点は基準点を表す。

（注）この一次合格ライン推計は、人事院より公表された「合格点および平均点等」のデータおよび「合格者の決定方法」（人事院ホームページ参照）に基づいて算出した。

- ・この推計では、基礎能力の基準点～満点のうち、専門が基準点以上となる範囲を掲載している。
- ・ここに掲載したのは、一次試験合格点（基準点）以上となるために必要な基礎能力・専門の素点の最低点である。したがって、素点の組合せから基準点を計算しても、すべての組合せが一次試験合格点と一致するわけではない。